

## ～ 地域資源を活かした大阪の魅力発信 ～

### 大阪都市景観建築賞(大阪まちなみ賞)の推進

#### 【概要】

美しく、個性と風格のあるまちの景観づくりを進めていくために、周辺景観の向上に資し、かつ、景観上優れた建物やまちなみを表彰。(大阪府・大阪市・(公社)大阪府建築士会・(一社)大阪府建築士事務所協会・(公社)日本建築家協会近畿支部・(一社)日本建築協会が共催。)

#### 【取組状況】

- ・昭和56年以降、公募により毎年5～10件程度の物件を表彰。
- ・大阪都市景観建築賞(大阪まちなみ賞)のホームページを平成23年4月1日に開設。( <http://osaka-machinami.jp/index.html> )
- ・平成27年度より、大阪府知事賞・大阪市長賞・審査員特別賞・緑化賞・奨励賞に加え、「建築サイン・アート賞」を新設。

(第34回 大阪まちなみ賞 受賞作品 -2014- (平成26年)) 写真出典：大阪都市景観建築賞(大阪まちなみ賞)ホームページ



大阪府知事賞 グランフロント大阪  
(大阪市北区)



大阪市長賞 ダイビル本館・中之島四季の丘  
(大阪市北区)



審査員特別賞 大阪木材仲買会館  
(大阪市西区)



緑化賞 旧桜宮公会堂  
(大阪市北区)



奨励賞 東大谷高等学校泉ヶ丘校舎  
(堺市)



奨励賞 日本圧着端子製造株式会社  
(大阪市中央区)



奨励賞 IDEC本社・技術研究センター  
(大阪市淀川区)



奨励賞 木の実幼稚園  
(松原市)



奨励賞 中之島フェスティバルタワー  
(大阪市北区)

- ・平成25年度からは、大阪ミュージアムモバイルガイドを活用し、府民や国内外からの観光客に向けて、「大阪まちなみ賞」を受賞した美しい建物のほか、「歴史的価値のある近代建築」、「大阪まちなみ百景」の景観など、約400件におよぶ大阪の魅力スポット情報を一同に集めたモバイルガイド『行って・見たい 大阪の建物』を作成し、スマートフォンやタブレット端末向けに情報発信。
- 掲載する情報には、各建物の建設時期や設計者・専門家のコメントのほか、カフェやレストラン・ショップ等があるものにはその情報を盛り込んだ。

#### 【これまでの成果】

- ・制度の創設以来、約250件を表彰。
- ・民間のシステム(アプリケーション)を活用してモバイルガイドを作成し、情報発信を実現。
- ・表彰された建物と連携したパネル展の実施( H26年度：中之島フェスティバルタワー、ダイビル本館 )

#### 【課題】

- ・継続性のある事業内容および運営手法の検討

#### 【今後の方向性】

- ・建築を中心とした景観の向上に資する賞として継続するよう、時宜に合ったテーマや対象の検討を行なっていくとともに、主に建築関係団体が担う予算の規模に応じて適切な手法による運営を行う。



## ～ 地域資源を活かした大阪の魅力発信 ～

### 石畳と淡い街灯まちづくり（大阪府）

- 【概要】  
 石畳と淡い街灯まちづくり支援事業におけるモデル6地区（富田林・枚方・岸和田・河内長野・箕面・柏原）の取組みや魅力をPRし、他地区でも歴史的・文化的資源を活かしたまちづくりが実施されるように支援
- 石畳と淡い街灯まちづくり支援事業  
 市町村が地域住民等と連携して行う歴史的・文化的資源を活かし、まちの魅力を引き出すプランを募集し、モデル地区を選定し、まちづくりを支援（補助額：1地区あたり2億円を上限、補助期間：平成21～23年度まで）

- 【取組状況】  
 モデル地区6市と府で石畳と淡い街灯まちづくり連携協議会を設置（平成22年8月27日）し、各地区の取組みや魅力をPR
- ・地域・企業の協賛による「フォトコンテスト」の実施（平成24年10月～平成25年1月）
  - ・商業施設のホール等を活用し、平成24年度実施のフォトコンテスト入賞作品を展示（平成25年6月～）
  - ・モデル地区6市の石畳事業終了後の状況を確認（H26年9月下旬～10月上旬）
  - ・咲洲庁舎等でモデル地区6市の取組みをパネル展示し魅力をPR
- 他地区でも歴史的・文化的資源を活かしたまちづくりが実施されるように支援
- ・石畳と淡い街灯まちづくり連携協議会ワーキングを開催し、地域資源を活かしたまちづくりに取組もうとしている市町村にモデル地区の取組みを紹介（平成25年9月26日）
  - ・恒常的なまちの魅力向上支援事業補助金、まちづくり初期活動サポート助成の活用（花折街道（豊能町）、紀州街道（泉南市）沿道地域等）

- 【成果】
- ・モデル地区6市においては石畳事業の補助金を活用し各地域の資源・特色を活かした施設整備等に取組んだことで、来街者数の増加、空き家活用の促進、地元のまちづくり協議会の立ち上げなど一定の効果が得られている
  - ・モデル地区以外では、恒常的なまちの魅力向上支援事業補助金、まちづくり初期活動サポート助成の活用により、花折街道（豊能町）、紀州街道（泉南市）沿道地域等において地域資源を活かした魅力創出に向けた取組みが展開されている



枚方市



富田林市



河内長野市

- 【課題】
- ・歴史的・文化的資源等の地域の資源を活かしたまちづくりの実施に向けた地域の機運の醸成
  - ・各地域の資源・特色を活かした施設整備等に向けた地域の財源の確保

- 【今後の方向性】
- ・国の補助等の活用により、各地で地域資源を活かしたまちづくりが展開されるよう、地域のまちづくりの取組みを支援

### 石畳と淡い街灯まちづくり（大阪市事業名：観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業）

- 【概要】  
 歴史・文化的な建築資源を活かした着地型観光拠点づくり：無電柱化や道路美化に加え、生きた建築ミュージアム事業で大阪セレクションに選定されている歴史・文化的建築物や、HOPEゾーン事業等と連携・活用して効率的に拠点づくりを進め、観光集客につなげる。  
 集客力と回遊性の向上：生きた建築ミュージアム事業や民間事業者などが実施しているイベント等を活用し、集客力と回遊性の向上を図り、地域の活性化につなげる。  
 民による自主的な地域マネージメント：無電柱化・道路美化後の清掃や自転車対策等を含む維持管理及び、集客イベント等を実施し地域の賑わいを創造する。  
 （事業期間：平成26年度～平成28年度（予定））

- 【取組状況】  
 平成26年度
- ・地域おこしの観点から街路や沿道の景観整備などを行っていた、大阪府の「石畳と淡い街灯まちづくり支援事業」に倣い、大阪市においても「観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業」として平成26年度～平成28年度の3か年で実施。
  - ・船場先行地区の5箇所の候補地のうち整備の優先順位をつけるために、有識者から意見聴取を行い、3箇所【日本生命・適塾周辺、芝川ビル周辺、大阪倶楽部周辺】で実施決定。
  - ・船場先行地区及び市内その他地区における再生化エリア（基礎データ）調査を実施し、有識者会議及び地域協議会へ反映させた。
  - ・船場地区に設置した地域協議会において、地上機器の設置場所や回遊性向上の仕組みなどについて地元住民等と協議を進めた。
- 平成27年度
- ・先行実施する3箇所について、地域協議会での議論を踏まえ、道路美化、無電柱化整備の設計、工事及び観光客の回遊性向上のための仕組みづくりを行う

- 【成果】
- ・民間の公共貢献や資金協力を得られ、歴史・文化的建築物が集積し、無電柱化や道路美化が今後の周辺のまちなみ整備を誘発しうる場所である5箇所の候補地のうちから、有識者から意見聴取を行った結果、観光に資する場所として、日本生命・適塾周辺、芝川ビル周辺、大阪倶楽部周辺の3箇所を優先的に整備することとなった。



船場地区の先行整備予定箇所



電線が地中化された三休橋の様子



架空線等で景観が阻害された歴史的建築物